

## 第14回府中療育センター祭～予告編～

生活療育支援科 田口美穂

第14回(2022)  
府中療育  
センター祭り



展示 東京都府中市(1A会場) 展示「光」(東京都府中市立府中療育センター)

展示 令和4年10月19日(水)から11月1日(火)

イベント日 令和4年10月21日(金) 22日(土)

10時から15時30分まで

※イベント会場は府中療育センターです

素敵なポスターもできました

8月に実行委員会が発足し、準備を進めている府中療育センター祭が、いよいよ近づいてまいりました。イベント日は10月21日(金)・22日(土)、展示期間は10月19日(水)から11月1日(火)です!

今回は予告編ということで、少しでもイベント内容をお知らせします。コーナーは例年どおり「制作・感覚刺激」「ゲーム」「芸能」「食べ物」の4つ。そして、今年も、地域の障害者施設等の方々に、お店(「外部出店」)を出していただける予定です。

では1階の「ゲーム」コーナーをご紹介します。今年のテーマは、『ゲーセン・ザ・ハロウィン』。理学療法室と作業療法室の2部屋がゲームセンターに変身します!

2階に移動しましょう。まず、ラウンジこかげから多目的ホールに続く廊下の壁面に、各部署の作品を展示します。そして各室内は、『鉄道の旅150周年』をテーマとする「感覚刺激」コーナーが2部屋、外部出店(食べ物あり、雑貨あり…お楽しみに!)の皆様のお部屋、利用者の方のための「食べ物」コーナー(テイクアウトのみ)と続き、最後の多目的ホールに「芸能」コーナーが展開します。「芸能」コーナーは、リズム&コメディの総合エンターテイメント・ユニット『TAP DO! (タップ ドゥ)』の公演、府中けやきの森学園和太鼓部のDVD出演、通所とくぬぎ分教室のDVDによる舞台発表を予定しています♪

ほかにも、当日までに皆で作る全体制作(鋭意制作中!)の完成品展示、オープニングセレモニーのチンドン屋、「人生の節目を祝う会」、ゲームコーナーの病棟訪問と、いくつものイベントを計画しています。

引き続きのコロナ禍であり、一堂に会して盛り上がるというわけにはいきませんが、入所・通所・通園の各部門の利用者の皆様と職員全員で、楽しいお祭りにはしていければと思います。感染予防を徹底し、センター祭の成功に向け、ご協力をよろしくお願いいたします!!

全体制作の作品を、鋭意制作中  
(何ができるか、お楽しみに!)



〒183-8553  
東京都府中市武蔵台2-9-2  
東京都立府中療育センター  
電話 042(323)5115  
FAX 042(322)6207

\*-\*-\*ホームページもご覧ください\*-\*-\*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

# ひだまり

## 第37回 日本環境感染学会総会・学術集会 参加報告

検査科 猪狩真子

6月16日(木曜日)から18日(土曜日)まで、第37回日本環境感染学会総会・学術集会が横浜で開催されました。今年のテーマは、「コロナ時代の感染制御を学ぶ」で、昨年に引き続き、WEBの配信も併せたハイブリッド開催となりました。今まで日本環境感染学会の発表は病院における感染対策が中心でしたが、今年は高齢者施設や介護施設などの施設が施設会員として登録できるようになったことから、施設の感染対策について多く取り上げられていました。

新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した施設へ支援に入られた専門家の先生の講演では、「これまで施設の感染対策は不透明な部分が多かったけれど、今回コロナのクラスターが発生したことで、各施設がどんな感染対策をとっているのかがよくわかった」というお話をされていました。施設によって、感染対策に対する意識が大きく異なっていたそうです。医療施設では感染対策がきちんと取られていて、いかに施設に持ち込まれないようにするか、施設内で感染拡大をさせないためにはどうすればよいのか等の取り組みを行っているが、介護・福祉施設ではそのような感染対策はとられておらず、個人用防護具も適正に使用されていなかった、ということでした。そのお話を聞いた時に私は、約10年前に府中療育センターのICT(院内感染制御チーム)が発足したばかりの頃、正しい手の洗い方や個人用防護具の着脱方法など、センター職員全員で研修を行っていた時のことを思い出しました。先生によると、新型コロナウイルスの感染力は強く、今は持ち込まれないことに注視した対応だけではなく、持ち込みを想定し、施設内に持ち込まれた後の迅速な対応が重要だということでした。

新型コロナウイルスばかりでなく、薬剤耐性菌についても、標準予防策の徹底、環境整備、抗菌薬の適正使用など、従来からの感染対策を継続して行うことが大切です。コロナ対策にばかり気をとられていると、耐性菌のアウトブレイク(感染拡大)が起こりますよ、という怖いお話もありました。標準予防策の重要性を痛感しました。

当センターは医療と施設の役割の両方を持つ施設ですので、今回の講演は大変勉強になりました。今年もWEB参加となりましたが、早くコロナが落ち着き、他施設の有効な感染対策などについて現地で直接情報共有できたらいいなと思います。



会場のパシフィコ横浜

## 夏祭り会

通所 金内 潤

7月16日、通所の「夏祭り会」を実施しました。

今年のテーマは「ミックス!“ここ”夏(ナッツ)！」です。昨年度は感染状況の悪化のために、多目的ホールを使用していたコンサートや担当心理士の参加などができませんでした。今回は感染状況が少し落ち着いた時期での開催となり、昨年度に比べるとできることが増えた夏祭り会でした。

そんな“今年の夏(ココナッツ)”を、招待観劇の皆様による音楽や、景品の当たる「風船くじ」、利用者の皆様の「楽しむぞ！」という気持ちなどを“ミックス”して、目いっぱい楽しもう！という思いを込めてテーマにしました。

招待観劇は「saxophone DICT (サクソフォン ディクト)」というグループから、サクソフォンとピアノ奏者のお二人が来てくれました。サクソフォンの音色がとても心地の良い風を吹かせてくれました。事前に何曲かのリクエストをお願いしたのですが、すべて曲目に取り入れてくださり、素晴らしいステージとなりました。

午後は景品の当たる「風船くじ」を行いました。デイルームに風船をいくつも浮かべて、風船にはくじが貼ってあります。お好きな色の風船を選ぶ利用者の皆様の笑顔が印象的でした。お好きな景品が当たりましたでしょうか。

コロナ禍となる前は、夏祭りにはご家族も参加されてきました。来年はさらに「ミックス！」できる夏になりますように(\*^-^\*)



素敵な演奏にうっとり♪



風船くじで景品をゲット



## 夏のお楽しみ会

2A病棟 大塚好雄



扉の中には、お化けの笑顔が…

8月3日(水曜日)、2A病棟では夏のお楽しみ会(お化けの練り歩き)を行いました。当初は「お化け屋敷」の企画で準備を進めてきましたが、センターが感染症対策上の院内フェーズ3という状況下になりましたので、大勢の利用者の皆さんが集まる行事として行うことは取りやめました。しかし、利用者さんと活動時間に作ってきたお化けの衣装や小道具などがもったいなかったもので、感染防止対策をとりつつ、普段の日中活動として、お化けに扮装した職員が病室にいらっしゃる利用者さんを訪問する形で行いました。

お化け役の一人は、頭に被った箱(お化けの家に見立てたもの)の扉を開けると、中からLEDライトに照らされた白塗りの顔が笑っているという扮装をしました。利用者さんはこの仕掛けが面白かったらしく、笑い出す方もいらっしました。

もう一人のお化け役は、段ボール箱に自分の生首を載せて持ち歩く、首のない大男を二人羽織風に演じました。普段と違うお化け風の声色で述べる口上を聴いて、目を大きく開けて見て下さる利用者さんもいらっしました。この日のために作った等身大の「から傘お化け」と紙粘土で作った「ろくろ首」も引き連れて、お化けたちはすべてのお部屋を回りました。

看護師の皆さんも利用者さんにお化けを見やすくなるようにと、ひとりずつベッドや車いすの向きなどを調整してくれました。おかげで利用者さん全員が、お化けとのやりとりをじっくりと楽しむことができました。利用者さんに怖がっていただくためのお化けの練り歩きでしたが、皆さんのご協力で心温まるレクリエーションとなりました。



皆さんのお部屋を訪問しま〜す♡

